



5200形グリーンムバー APEX

第110期 報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

 **広島電鉄株式会社**
証券コード：9033

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
当社第110期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2019年6月
代表取締役社長 椋田 昌夫

公共交通で移動しやすい街づくりを進めるための施策に積極的に取り組むとともに、グループ会社の経営の見直しなどを行い、収益の確保に努めました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、堅調な企業業績や雇用・所得環境の改善を背景として、緩やかな回復基調で推移してきたものの、大規模な自然災害の影響や、中国経済の減速や米中貿易摩擦の懸念、原油価格の高騰など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、広島市が事業主体である電車の広島駅前大橋ルート of 整備や、広島県と廿日市市が事業主体である宮島口整備事業、広島大学本部跡地に建設中の分譲タワーマンション「hitoto広島 The Tower」といった事業を関係機関と協力しながら推進し、活力ある街づくりに尽力するとともに、各事業とも積極的な営業活動を展開して収益の確保に努めました。

運輸業におきましては、電車とバスで利用できる交通系ICカードの種類を拡大するなど、使いやすく

わかりやすい公共交通の体系づくりを進めました。鉄軌道事業では、2018年5月から「グリーンムーバー LEX」限定で、車内移動を短縮し中央扉からも降車できるように全扉降車サービスの運用を始め、利便性、速達性の向上を図ったほか、2019年3月には最新型の国産超低床型路面電車「グリーンムーバー APEX」を導入し、「グリーンムーバー LEX」の増備とともに、バリアフリー化の向上を図りました。自動車事業では、2018年5月から広島市都心循環バス「エキまちループ」の運行や、バス事業者の定期券を相互に利用できる「共通定期券制度」を開始したほか、2018年4月に新規オープンした大型商業施設「THE OUTLETS HIROSHIMA」への路線を新設するなど、利便性の向上を図りました。

流通業におきましては、2018年10月に(株)広電ストアのスーパー事業および移動販売事業を他社に事業譲渡することで不採算部門を整理し、同社を解散・清算いたしました。

不動産業におきましては、2017年11月に竣工した「スタートラム広島」のテナント賃料収入が増加し

たほか、(株)広電ストアの事業譲渡に伴い、同社が所有していたテナント店舗施設を引き受けました。

不動産業が増収となったものの、運輸業、流通業、建設業およびレジャー・サービス業が減収となりました。

当連結会計年度の営業収益は、不動産業を除くすべてのセグメントで減収となり、前連結会計年度と比較して9.2%、3,706百万円減少し、36,545百万円となりました。

利益につきましては、営業損益は、前連結会計年度の営業損失225百万円に対し、384百万円の営業損失となり、経常損益は、前連結会計年度の経常損失222百万円に対し、322百万円の経常損失となりました。マダムジョイ全店舗の営業終了による閉店、事業終了に伴う損失の発生やホテル建物をグループ内で売買したことによる固定資産売却損の発生により特別損益が悪化しました。自動車事業に係る運行補助金などの「工事負担金等受入額」を含めた特別利益および特別損失を加減算した親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度と比較して、25.6%、219百万円減少の636百万円となりました。

各関係機関と協力しながら新規事業に取り組み、安全性の確保を前提としたうえで、厳しい計数管理に基づく経費の削減などを行い、収益の向上に努めてまいります。

今後の経済見通しにつきましては、政府の経済政策により、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかに回復しておりますが、国内においては、雇用改善による人手不足、所得改善による人件費の上昇など、また、海外においては米中貿易摩擦の懸念や、

中国の景気減速などにより、先行きが不透明な状況であり、当社グループを取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続くものと思われまます。

運輸業におきましては、少子高齢化の進展による乗車人員の減少や、原油価格の変動による燃料費の上昇、バス運転士不足など、今後も厳しい経営環境が続くものと思われまますが、輸送の安全確保や法令順守はもちろんのこと、経営環境の変化に迅速に対応できる企業体質の改善に努めてまいります。鉄軌道事業におきましては、広島駅前大橋ルートの整備や、宮島口整備事業の一環としての新たな広電宮島口駅の検討、国産超低床型路面電車の継続的導入、駅・電停の整備など、路面電車のLRT化に向けて引き続き取り組んでまいります。自動車事業におきましては、ノンステップバスやハイブリッドバスなど、バリアフリーや環境に配慮した車両の導入を引き続き推進してまいります。

不動産業におきましては、石内東地区開発事業「西風新都グリーンフォートそらの」の住宅用地の分譲を引き続き行ってまいります。また、広島大学本部跡地の活用策「hitoto広島」を推進し、活力ある街づくりに尽力してまいります。さらに、広島県安芸郡府中町での分譲マンション事業計画を進め、将来的な販売物件の確保に努めてまいります。

当社グループといたしましては、様々な経営課題に取り組むとともに、経営環境の変化への迅速な対応と安定した収益構造の構築に努め、安全性の確保を前提としたうえで、個々のお客様のニーズに応じたサービスや商品の提供による収益の獲得と、厳しい計数管理に基づく経費の削減などに取り組み、収益性の向上に努めてまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

グループ情報

運輸部門



備北交通(株)

2018年4月1日より、廃止されたJR三江線の代替交通として、当社は国道54号線に2両のポンチョ(小型低床バス)を走らせております。また(有)君田交通が国道375線を走ることとなり、交通系ICカードPASPYについても、当社のシステムを利用して運行することとなりました。

これからも同業他社をはじめ、異業種とも協力・競合しながら地域と密着して頑張っております。

エイチ・ディー西広島(株)

2018年4月、大型商業施設「THE OUTLETS HIROSHIMA」の開業に伴い、「西風新都グリーンフォートそらの」へバス路線を延長しました。商業施設への来店者のほか通勤通学のお客様にも多数ご利用いただいております。2019年3月にはダイヤ改正を行い、営業時間を延長しました。

当社の特色である地元公民館との共催事業も引き続き開催し、地域貢献活動にも力を注ぎました。



芸陽バス(株)

当社では、ドライバーの異常時に乗客自らが車両を停止させるシステム(EDSS)をかぐや姫号にいち早く導入するなど、日進月歩の車両安全装置を積極的に取り入れています。

2019年2月には広島県警本部と合同で、車両安全装置の研修会を行うなど、安全性向上への取り組みを進めています。



車両安全装置の研修会

広電エアサポート(株)

2018年10月29日に広島空港開港25周年を迎え、12月からは国際線チェックインカウンターが効率的に共用使用できるよう模様替えされました。電光表示板に各航空会社名が表示され、定期便、チャーター便等臨機応変に案内できるようになりました。

また、エプロンスポットが一部マルチ化(多機能化)され、大型機用として運用されてきた6番および7番スポットについて、近年の航空機の小型化等を踏まえ、同時に小型機3機の駐機スポットとして運用できるようになりました。



国際線チェックインカウンター

グループ情報



紅葉谷線の Gondola

広島観光開発(株)

当社では、平清盛生誕九百年を記念したスタンプラリーや弥山清掃登山などのイベントを実施して、宮島弥山をPRするとともに、旅客誘致に努めました。また、2019年3月には、ホームページをさらに見やすいようにリニューアルしました。

宮島松大汽船(株)

お客様に安心・安全・快適な船旅を提供するため、安全教育をはじめ乗組員・陸上員を含めた接客研修・AED研修を実施しました。また宮島口港湾整備事業に伴い旅客動線を変更したため、新たに広電宮島口駅から当社宮島口乗船口まで多言語による看板等を増設し、広電宮島線ご利用者や旅行者を含めたお客様にも、わかりやすく確実な乗船案内誘導に努めました。多客時には臨時便を増発し、利便性の向上と収益の確保に努めました。今後も旅客運輸業の最大の使命である安全運航に徹し、サービスや船内の快適性を向上させ、利用促進を図ってまいります。



建設部門



JA広島北部可愛出張所

広電建設(株)

建築部では、民間工事や公共工事を多数受注し、安芸高田市の「JA広島北部可愛出張所新築工事」、廿日市市の公私連携型保育所「丸石保育園新築工事」等が竣工しました。

また、不動産住宅部では「そらの販売センター」を拠点に、そらの団地内の建売住宅の販売を積極的に行ったほか、注文住宅やリフォーム工事を多数受注しました。

流通部門

(株)広電宮島ガーデン

2019年3月、山陽自動車道 宮島SA(下り線)のレストラン「お食事処 磯もみじ」で、管理栄養士を目指す比治山大学の学生との共同開発による、栄養バランスに配慮した親と幼児でシェアできる「満足ボーンセット」と、(株)ホテルニューヒロデンの西坂正寛総料理長監修のもと、2つの味が同時に楽しめる「宮島さんのダブルソースカレー」の2種類のコラボ新メニューを発売しました。



「満足ボーンセット」



「宮島さんのダブルソースカレー」

グループ情報

レジャー・サービス部門

(株)ホテルニューヒロデン

宿泊部門では、「JALパックアワード2018」においてセールス部門「銀賞」を受賞しました。スタッフ一同この受賞を光栄に、また、大変うれしく思っております。

国内、インバウンドのお客様が増えているなか、今後もこの賞を励みに、「心をこめたおもてなし」に一生懸命努力してまいります。



JALパックアワード2018受賞式



ダリア・パヨンク プロボウラー

(株)ヒロデンプラザ

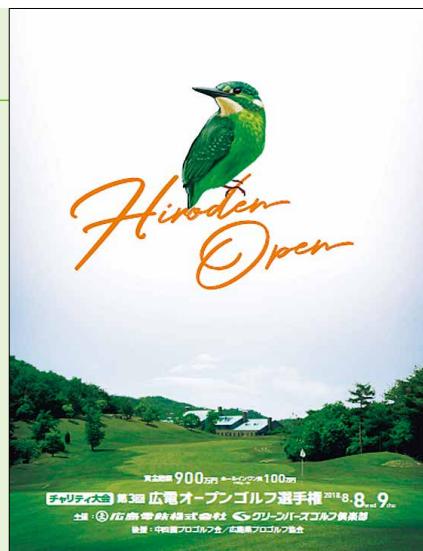
ボウリング部門では、年間を通じてプロボウラーをお招きして様々なイベントを開催しました。2019年3月19日には、「ダリア・パヨンクプロ 全国縦断ツアー」広島大会を広電ボウルで開催しました。ダリア・パヨンクプロは、ポーランド出身の、アメリカで活躍中のプロボウラーで、大会に先立ち開催したセミナーでは、昨年から広電ボウルに導入されている練習器具「TORCH」^{トーチ}を使用した練習方法などをコーチングしていただき、大会も大いに盛り上がりました。

(株)グリーンバース・ヒロデン

2018年8月8日・9日に、広島電鉄(株)と当社の主催で「第3回 広電オープンゴルフ選手権」を開催しました。

今回からチャリティ大会として開催し、プロ80名、アマチュア80名の参加で行われました。本大会に寄せられたチャリティ基金を、平成30年7月豪雨災害の義援金として三原市へ寄付しました。

2019年8月7日・8日に開催予定の第4回大会のチャリティ基金は、目の不自由な方のための「音の出る信号機」を設置するために使っていただく予定です。



第3回 広電オープンゴルフ選手権ポスター



「語学留学センター」でのセミナーの様子

ひろでん中国新聞旅行(株)

2019年1月に広島YMCAエデュケーションアルトラベルの事業を引き継ぎ、「語学留学センター」を開設しました。3月には、マレーシア・ペナン島で10日間のプログラムを実施しました。現地では授業やアクティビティを楽しみながら生きた英語を学んでいただきました。今後はアメリカ・イギリスなどでの短期プログラムや国内2泊3日プログラムなど、様々な企画を実施します。

5200形「グリーンムーバー APEX」の導入



2号線を運行する5200形「グリーンムーバー APEX」

2019年3月に、最新型の5200形「グリーンムーバー APEX」を2編成導入し、2号線で運行開始しました。コンセプトは「未来×スピード」で、モノトーンを基調とした車体に鮮やかな緑をアレンジしています。また、車内案内表示器を日本語、英語、中国語、韓国語の4カ国語表記ができるものとし、多くのお客様に情報を提供できるようにしています。

広電五日市駅エレベータ設置に伴う 上りホームの改良

広島市と広電五日市駅のバリアフリー化に向けた協議を進めてきた結果、広島市がエレベータを設置することとなり、当社はこれに伴う上りホームの改良工事を行い、2019年3月22日に完了しました。

高床ホームの低床化や、ホーム後端部にスロープを設置した出入口を増設するなど、バリアフリー化を合わせて実施することで、利用者へのサービス向上を図りました。



新たに増設した出入口のスロープ



フルカラー LED式行先表示機車両

フルカラー LED式行先表示機の導入

フルカラー LED式行先表示機を搭載した車両が、呉地区においては2018年8月に3台、広島地区においては2018年12月から順次15台が運行を開始しました。県内の路線バスとしては初めての導入で、各方面ごとに路線番号を色分けすることで、今までの単色表示機よりも、わかりやすくなりました。

環境定期券制度「のれバスて〜き」

2018年5月より、環境定期券制度、新名称「のれバスて〜き」としてサービスの拡大を行いました。

当社以外PASPY定期券発行事業者(アストラムラインを除く)の通勤定期券利用者についても、土曜日・日曜日・祝日に定期券区間以外で当社および「のれバスて〜き」参加事業者のバスを利用した場合、1乗車につき大人100円、小児・大人(障害者)50円、小児(障害者)30円で利用可能となりました。



「西風新都グリーンフォートそらの」の分譲



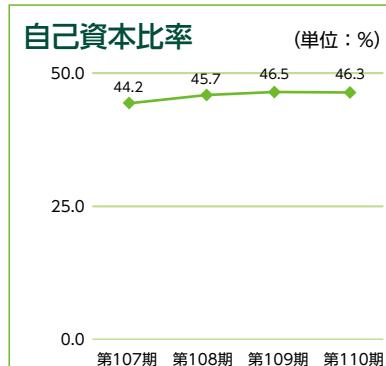
「西風新都グリーンフォートそらの」

「西風新都グリーンフォートそらの」の販売にあたり住宅メーカー5社(積水ハウス(株)、大和ハウス工業(株)、ミサワホーム中国(株)、トヨタホーム(株)、広電建設(株))と販売代理契約を締結し、住宅用地I(全154区画)の販売を進めており、2016年1月販売開始から2019年3月末までの期間で140区画の分譲を完了しました。

連結業績ハイライト

	第107期 2016年3月期	第108期 2017年3月期	第109期 2018年3月期	第110期 2019年3月期
売上高 (百万円)	47,044	42,231	40,252	36,545
営業利益又は営業損失(△) (百万円)	2,520	684	△ 225	△ 384
経常利益又は経常損失(△) (百万円)	2,301	760	△ 222	△ 322
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1,841	1,301	855	636
1株当たり当期純利益 (円)	60.72	42.93	28.22	20.98
総資産 (百万円)	89,092	88,980	88,713	88,758
純資産 (百万円)	40,265	41,649	42,355	42,178
自己資本比率 (%)	44.2	45.7	46.5	46.3
1株当たり純資産 (円)	1,297.55	1,340.29	1,361.22	1,354.24

注) 当社は、2017年9月1日付けで普通株式2株につき普通株式1株の割合で株式併合を行っております。
第106期連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり純資産」を算定しております。



連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表 2019年3月31日現在 (単位：百万円)

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	13,076
現金及び預金	4,863
受取手形及び売掛金	2,075
販売土地及び建物	3,445
未成工事支出金	32
商品及び製品	69
原材料及び貯蔵品	511
その他	2,081
貸倒引当金	△ 2
固定資産	75,681
有形固定資産	69,002
建物及び構築物(純額)	18,299
機械装置及び運搬具(純額)	6,330
土地	43,502
建設仮勘定	75
その他	794
無形固定資産	344
借地権	27
その他	316
投資その他の資産	6,334
投資有価証券	3,414
長期貸付金	18
繰延税金資産	472
退職給付に係る資産	1,925
その他	567
貸倒引当金	△ 64
資産合計	88,758

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	17,968
支払手形及び買掛金	834
短期借入金	7,314
1年内償還予定の社債	236
未払金	2,873
未払法人税等	140
未払消費税等	493
未払費用	936
預り金	1,645
賞与引当金	1,203
役員賞与引当金	20
その他	2,271
固定負債	28,610
社債	242
長期借入金	11,983
繰延税金負債	482
再評価に係る繰延税金負債	10,009
退職給付に係る負債	1,308
その他	4,585
負債合計	46,579
純資産の部	
株主資本	17,191
資本金	2,335
資本剰余金	2,001
利益剰余金	12,950
自己株式	△ 95
その他の包括利益累計額	23,876
その他有価証券評価差額金	799
土地再評価差額金	22,515
退職給付に係る調整累計額	561
非支配株主持分	1,110
純資産合計	42,178
負債純資産合計	88,758

連結損益計算書 2018年4月1日から2019年3月31日まで (単位：百万円)

科 目	金 額
営業収益	36,545
運輸業等営業費及び売上原価	29,010
販売費及び一般管理費	7,920
営業損失	384
営業外収益	490
営業外費用	428
経常損失	322
特別利益	2,799
特別損失	1,419
税金等調整前当期純利益	1,057
法人税、住民税及び事業税	207
法人税等調整額	161
当期純利益	688
非支配株主に帰属する当期純利益	52
親会社株主に帰属する当期純利益	636

連結株主資本等の変動額一覧 2018年4月1日から2019年3月31日まで (単位：百万円)

	当期首残高	当期変動額	当期末残高
株主資本			
資本金	2,335	—	2,335
資本剰余金	1,996	5	2,001
利益剰余金	12,557	392	12,950
自己株式	△ 95	△ 0	△ 95
株主資本合計	16,795	396	17,191
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	1,315	△ 516	799
土地再評価差額金	22,514	1	22,515
退職給付に係る調整累計額	655	△ 94	561
その他の包括利益累計額合計	24,485	△ 609	23,876
非支配株主持分	1,074	36	1,110
純資産合計	42,355	△ 176	42,178

注) 決算発表で開示された「連結株主資本等変動計算書」を基に、参考情報として読みやすく配置を整理しております。

連結キャッシュフロー計算書 2018年4月1日から2019年3月31日まで (単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,030
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,410
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 467
現金及び現金同等物の増減額	153
現金及び現金同等物の期首残高	4,163
現金及び現金同等物の期末残高	4,316

グループ会社の状況 (2019年3月31日)

名 称	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	主要な事業内容
広電建設(株)	50	100.0	土木、建築、住宅、不動産業
広電エアサポート(株)	98	100.0 (25.0)	航空運送代理業、保険代理店業
備北交通(株)	45	89.9	バス事業、旅行代理業
(株)広電宮島ガーデン	50	100.0	レストラン、売店
宮島松大汽船(株)	60	60.0	海上運送業
(株)ヒロデンプラザ	40	100.0	ボウリング、ゴルフ練習場
(株)グリーンバース・ヒロデン	90	100.0	ゴルフ場経営
(株)ホテルニューヒロデン	100	100.0	ホテル業
エイチ・ディー西広島(株)	30	100.0	バス事業
広島観光開発(株)	125	58.1 (12.0)	索道業
(株)交通会館	156	63.7	不動産賃貸業
芸陽バス(株)	100	94.9	バス事業、旅行業、不動産業、保険代理業
大亜工業(株)	241	20.1	電気工事、電気通信工事、鋼構造物工事等
ひろでん中国新聞旅行(株)	100	50.0 (3.7)	旅行業
広島観光汽船(株)	40	—	海上運送業
(有)やまとタクシー	5	—	タクシー業

注) 出資比率は、保有株式数を発行株式数で除したものであり、()内は間接保有比率で内数であります。

個別財務諸表(要旨)

貸借対照表 2019年3月31日現在 (単位：百万円)

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	9,223
現金及び預金	2,352
未収運賃	292
未収金	2,311
未収収益	31
短期貸付金	14
販売土地及び建物	3,371
貯蔵品	445
前払金	361
前払費用	8
その他の流動資産	32
固定資産	69,360
鉄・軌道事業固定資産	15,129
自動車事業固定資産	13,367
不動産事業固定資産	32,920
各事業関連固定資産	2,523
建設仮勘定	170
投資その他の資産	5,249
関係会社株式	1,082
投資有価証券	2,927
長期貸付金	129
前払年金費用	1,072
その他の投資等	736
貸倒引当金	△ 698
資産合計	78,584

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	17,877
短期借入金	9,399
1年内償還予定の社債	236
未払金	2,823
未払費用	682
未払法人税等	7
未払消費税等	333
預り連絡運賃	138
預り金	896
前受運賃	486
前受金	1,573
前受収益	161
賞与引当金	976
その他の流動負債	161
固定負債	26,180
社債	242
長期借入金	11,650
繰延税金負債	232
再評価に係る繰延税金負債	10,009
退職給付引当金	495
関係会社事業損失引当金	520
その他の固定負債	3,031
負債合計	44,058
純資産の部	
株主資本	11,219
資本金	2,335
資本剰余金	1,975
利益剰余金	6,963
自己株式	△ 55
評価・換算差額等	23,305
その他有価証券評価差額金	789
土地再評価差額金	22,515
純資産合計	34,525
負債純資産合計	78,584

損益計算書 2018年4月1日から2019年3月31日まで (単位：百万円)

科 目	金 額	
鉄・軌道事業	営業収益	6,965
	営業費	6,821
	営業利益	143
自動車事業	営業収益	10,696
	営業費	11,952
	営業損失	1,256
不動産事業	営業収益	4,295
	営業費	3,136
	営業利益	1,159
全事業営業収益	21,957	
全事業営業費	21,910	
全事業営業利益	46	
営業外収益	488	
営業外費用	489	
経常利益	45	
特別利益	1,853	
特別損失	1,045	
税引前当期純利益	853	
法人税、住民税及び事業税	6	
法人税等調整額	161	
当期純利益	685	

株主資本等の変動額一覧 2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位：百万円)

	当期首残高	当期変動額	当期末残高
株主資本			
資本金	2,335	—	2,335
資本剰余金	1,975	0	1,975
利益剰余金	6,521	441	6,963
(剰余金の配当)		※△ 243	
(当期純利益)		※685	
自己株式	△ 54	△ 0	△ 55
株主資本合計	10,778	441	11,219
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	1,301	△ 511	789
土地再評価差額金	22,514	1	22,515
評価・換算差額等合計	23,816	△ 510	23,305
純資産合計	34,594	△ 69	34,525

注) 1. 決算発表で開示された「株主資本等変動計算書」を基に、参考情報として読みやすく配置を整理しております。

2. ※は利益剰余金の内数です。

株主優待制度

対象株主様：毎年3月31日および9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主様

贈呈基準および贈呈内容

株主優待乗車券・乗車証(年2回)		
所有株式数	種別	枚数
500株以上	電車全線乗車券	株式数に応じ 4~24枚
6,000株以上	電車全線・広島都心部エリア バス乗車証(1名記名式)	1枚
12,000株以上	バス全線乗車証または 電車全線・広島都心部エリア バス乗車証(1名記名式)	1枚
	電車全線乗車券	12枚
18,000株以上	電車・バス全線乗車証 (1名記名式)	1枚
75,000株以上	電車・バス全線乗車証 (1名記名式) ※2枚目以降持参人式選択可	2枚
150,000株以上		3枚

広電グループ諸施設ご優待割引券(年2回)		
所有株式数	種別	枚数
100株以上	広電グループ諸施設 ご優待割引券	1セット
株主優待選択商品(年2回)		
500株以上	広島県産品など	1セット品

※株主優待制度は変更させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

交付時期および有効期限

	3月末日現在の株主様		9月末日現在の株主様	
	交付(発送)時期	有効期間	交付(発送)時期	有効期間
株主優待乗車券		—	11月末日	—
株主優待乗車証	5月末日	11月末日まで	11月末日	5月末日まで
広電グループ諸施設 ご優待割引券	6月末日	12月末日まで	12月末日	6月末日まで
株主優待選択商品	6月	8月末日必着	12月	2月末日必着

※各優待券はお手元に届いた日からご使用いただけます。

株主優待制度のお問い合わせ先：〒730-8610 広島市中区東千田町二丁目9番29号 広電本社ビル4階
広島電鉄株式会社 総務課 (株式担当) ☎(082) 242-3522 (平日9:00~18:00)

電車全線乗車券の使用方法について

1. どなたでもご使用いただけます。
2. 1回のご乗車につき1枚必要です。
3. 乗り換えには2枚必要です。

乗車証の使用について

1. 記名ご本人以外の方はご使用いただけません。
2. 記名者は、原則株主様となります。
ただし、株主様をご使用されない場合は、株主様と同居する配偶者および2親等以内の親族、非同居の直系亲属(子または孫)の範囲で記名者を変更し、ご使用いただけます。
3. 使用者を変更する場合は、戸籍謄本、住民票などの証明書等で確認させていただくことがあります。

バス全線乗車証、電車・バス全線乗車証の通用範囲について

1. 広島空港リムジンバス、呉広島空港線、米子線はご使用いただけません。
2. 三次・庄原線、松江線、浜田線、広島呉線(クレアライン)、エキまちループはご使用いただけます。ただし、広電便以外はご使用いただけません。
3. 当社が定めるシャトルバス・臨時便、社会実験便等にはご使用いただけません。詳しくは当社株式担当までお問い合わせください。

広電グループ諸施設ご優待割引券について

広電建設・もみじ本陣・広電ボウル・広電ゴルフ・グリーンバースゴルフ倶楽部・ひろでん中国新聞旅行・ホテルニューヒロデン・宮島ロープウエーの優待割引券が1セットになっています。

株主優待選択商品について

当社で指定した複数の広島県産品のうちから株主様に選択していただいた一品をご送付いたします。前回までは当社が指定した商品を送付しておりましたが、今回より株主様に選択していただけるよう変更いたしました。期日までに申し込みが必要ですのでご注意ください。

会社の概要

会社概要 (2019年3月31日現在)

設立	1942年4月10日
資本金	23億3,562万5千円
本社所在地	広島市中区東千田町二丁目9番29号
従業員数	1,777名
主要事業	1. 鉄・軌道事業 2. 自動車事業 3. 不動産事業
営業軒	1. 鉄・軌道 35.1軒 2. 自動車 1,378.9軒
車両数	1. 鉄・軌道 299両 2. 自動車 558両

取締役および監査役 (2019年6月27日現在)

代表取締役社長	椋田昌夫
常務取締役	倉本勇治
取締役	藤元秀樹
取締役	仮井康裕
取締役	平町隆典
取締役	横田好明
取締役	瀬崎敏正
取締役	岡田茂
取締役	立岩薫
取締役	田村興造
取締役	秦清
常勤監査役	尾崎宏明
監査役	坂井康成
監査役	川上清一

- 注) 1. 取締役 田村興造、秦清は、社外取締役であります。
2. 監査役 坂井康成、川上清一は、社外監査役であります。

執行役員 (2019年6月27日現在)

執行役員	玉田和
執行役員	山田康敬

株式の状況

基本データ (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数	1億2,000万株
発行済株式の総数	3,044万5千5百株
1単元の株式の数	100株
株主数	4,224名

所有者別分布状況 (2019年3月31日現在)

区分	株主数(人)	比率(%)
金融機関	22	0.52
金融商品取引業者	10	0.24
その他の法人	61	1.44
外国法人	10	0.24
個人・その他	4,120	97.54
自己名義株式	1	0.02

所有株式数別分布状況 (2019年3月31日現在)

区分	株式数(千株)	比率(%)
金融機関	5,597	18.39
金融商品取引業者	60	0.20
その他の法人	5,876	19.30
外国法人等	12	0.04
個人・その他	18,828	61.84
自己名義株式	69	0.23

大株主の状況 (2019年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
広島日野自動車株式会社	1,170	3.85
株式会社広島銀行	1,044	3.44
株式会社三菱UFJ銀行	877	2.84
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 五洋建設口	757	2.49
出光興産株式会社	750	2.47
株式会社鴻治組	701	2.31
広島ガス株式会社	618	2.03
三井住友海上火災保険株式会社	435	1.43
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	418	1.38
野村信託銀行株式会社 退職給付信託 三菱UFJ信託銀行口	375	1.23

注) 株式会社広島銀行の持株数には、株式会社広島銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式802千株(持株比率2.64%)を含んでおります。

株主メモ



事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主総会の基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告した日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎0120-094-777(フリーダイヤル)

手続きのお申し出先について

1. 未払配当金の支払のお申し出先

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取・買増、特別口座所有株式の振替等のお申し出先

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

公告の方法

電子公告により当社ホームページ

<http://www.hiroden.co.jp/> に掲載いたします。

ただし、事故、その他のやむを得ない事由により電子公告することができないときは、中国新聞に掲載いたします。

お知らせ

株主懇談コーナーについて

2019年5月29日(水)、30日(木)に株主懇談コーナーを開催いたしました。

次の開催予定は次のとおりです。

日時：2019年11月27日(水)

11月28日(木)

場所：広島市中区東千田町二丁目9番29号
広電本社ビル3階会議室